

館報

おおくま

—お も な 内 容—

- 2面…部落館活動を目ざして
- 3面…スポーツ傷害保険あんない
- 4面…学級・講座あんない
- 5面…スポーツ少年団に応援旗
- 6面…文芸
- 7面・8面…みんなの広場

発行編集 大熊町公民館  
印刷所 新栄社写真美術印刷機



菓立ち

仰げば尊し わが師の恩  
 教えの庭にも はやこゝろ  
 思えば ごとく このまじり  
 いまこそ 別れめ さらばは  
 今日は わたしたちの 卒業式  
 長いようで 短かった 六年間  
 雨の日も 風の日も  
 仲よく 遊んだ 学友たち  
 ある時は きびしく  
 そして そとと 優しく  
 教えてくれた 諸先生  
 今は 懐かしい 思い出  
 通いなれた 散歩道  
 学び 育まれた 小学校  
 楽しかった 運動会  
 すべてが 脳裏にやきつく  
 その 思い出の数々を胸に  
 いま 在校生に 囲まれ  
 恩師に 見送られて  
 学び舎を 後にする  
 この 子ども達も  
 大きく育て じまじも

(写真は三月二十三日、熊町小  
 学校の卒業式、先生と握手を交  
 わし別れを惜しむ卒業生)

# 部落公民館の

## 活動を目ざして

### 部落公民館長研修会を開く

#### 野上四区公民館

館長 佐久間 正 之

第二回部落公民館長研修会が去る二月三日、町公民館において開催された。研修会には遠藤町長はか多数の関係者が出席し、「部落公民館事業の充実と活動を活発に推進する」ための研究協議が行なわれた。始めに代表七館の館長から活動の事例発表があり、活発な討議が行われ、最後に県教育庁の先生方からまとめの指導をいただき有意義に終了した。次に研修会の概要を列記し、今後の部落館活動に生かしていただければ幸甚と思

います。

#### 大川原第二公民館

館長 馬 淵 辰 衛

◎部落公民館運営規約を制定し、部落民の学習の場としての活動を開始する。特に主催事業を遂行するには、各種団体との連絡協調を得ながら実態に即した活動を実践しなければならぬと苦労談を報告された。

#### 熊一區公民館

館長 佐久間 孝 夫

◎四月始め各種団体長との合同会議を開き、公民館活動とは何か。内容の充実を図るにはどうしたらよいか協議を行う。その結果、①部落を住みよい明るい環境にする。②共同の奉仕作業を通して助け合いの精神、連帯感を高める。③自

家生産物の利用を図るため料理教室を開くことになる。

目標達成のため五月以降の主要業は花いっぱい運動を推進、館長宅の畑を利用し、各団体の代表者により苗を育て道路や空地に苗を移植。六月には農事研究会(米つくりについて)七月には全員で道路、神社、墓地等の清掃作業、特に墓地は将来の共同生活の場であり憩いの場である。清掃は勿論、年間を通して「花で飾ろう」をモットーにしている。十二月以降は普及所の根本先生を講師に料理教室を開催、年間活動を通して得た区民の自治意識、連帯感によって生活環境が改善されたことはよかった。

#### 熊町公民館

館長 中 野 孝 重

◎四月早々に各クラブ(野球、ソフト、民謡、バレエ、生改婦人部)を結成し、クラブのリーダーを中心に自主的活動を推進した。各種行事に全戸もれなく参加し、その積極的な努力が実のり町民体育祭には二年連続優勝の栄冠を得た。

#### 夫沢二區公民館

館長 渡 辺 芳 雄

◎文化財(じゃんがら念佛踊り)の保存と区長杯争奪の班対抗球技大会(ソフト・バレエ)民謡教室の開催が主である。特に民俗芸能文化財としてのじゃんがら念佛踊りの後継者養成に努力している。

#### 野馬形公民館

館長 幾 橋 義 男

◎老人の集い、料理講習会、民謡会等を中心に開く。料理は各人自慢の料理を持ち寄り、お互いの料理試食は有意義であった。また小学生を対象とした週三回の珠算教室も定着し、公民館活動に対する理解も深まり、積極的に取り組む姿勢が見られる。

#### 下野上一區公民館

館長 松 本 幸 一

- ◎公民館活動の努力目標を設定
- ◎各種団体との連絡協調。
- ◎自主的研究グループの育成。
- ◎文化の向上につとめる。
- ◎環境美化(花いっぱい運動)の実践

#### ◎活動状況

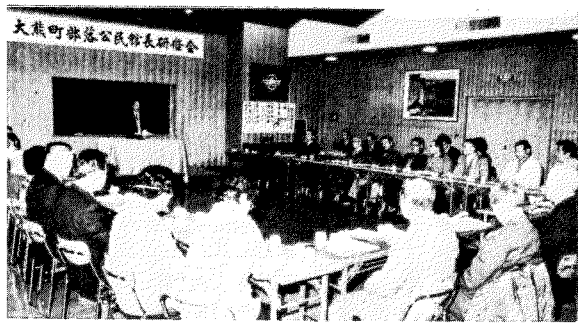
年度はじめに各種団体長との合同会を開く。民謡クラブは七十二才の池田ミツイさんが生きがい活動として自主的に生んだグループである。浪江町で開かれた民謡大会には三名が出場し準優勝した。特に花いっぱい運動ではベテランの池田徳治さんより花栽培の指導を受ける。総合的な行事としては八月の盆踊り大会。区長、班長は資金づくり。装飾と踊りは婦人会。老人と若い人はお手伝いと区民全員で、それぞれの立場で協力盛会に行われた。今後は文化活動(講演会、映画会、読書活動等)に力を注ぎたい。これらの活動を通して感じたことは、自主的研究グループの育成であり、人材の発掘こそ最も大切であることを痛感する。

#### 全体指導

相双教育事務所 中野由孝先生

公民館活動は容易でない。このように活発な活動を実施しているところは相双管内でも数少ない。八十年代は地方の時代、部落公民館活動こそ町発展の基礎である。特に各館の活動状況を聞いて、次のように感じた。

- ① 地域社会の自治意識、連帯感を育てるため各種団体との連絡協調が大切である。
- ② 心と心の深まりを求めている図書活動こそ地域づくりの基盤である。また地域特有の民俗芸能を発掘し、次代を担う青少年へ継承する活動も重要である。
- ③ 地域内にはリーダー講習会を受講した方がいるので、自主的な活動と活用を期待したい。
- ④ 公民館活動には、各館共通のもの、一回限りで終るもの、継続的なもの、先人がのこした民俗芸能など、公民館を地域の核として地域性を生かした事業こそ大切である。
- ⑤ 充実した活動を進めるには一人が問題になる。ある一定の年代に偏らず、各年令層を考え、各分野、機能別にリーダーを選び出すことが大切である。
- ⑥ 活動の年間目標を設定し、計画、実践、反省して地域に残されている課題は「なにか」を検討、次年度の計画に組み入れることが大切である。



# スポーツ傷害保険は

## 三月で期間が切れます

職場やグループでのスポーツ活動は、年を追うごとに盛んになり、反面スポーツ活動中の事故も激増しています。このようなスポーツ事故を補償することにより、安心してスポーツを楽しめるようにしたのが、スポーツ傷害保険であり、これまで加入された保険は三月三十一日で期間が切れます。スポーツ活動を行われる方は次により、新たに加入されるようおすすめます。

◇この保険に加入できる団体  
スポーツ団体および社会教育関係団体で、指導監督者を置き、かつ十名以上で構成されている団体。

◇加入の手続きと保険期間  
昭和五十六年四月一日より昭和五十七年三月三十一日午後十二時まで

◇加入の申し込みと保険期間  
昭和五十六年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

◇この保険に加入できる団体  
スポーツ団体および社会教育関係団体で、指導監督者を置き、かつ十名以上で構成されている団体。

は業務能力の減少をきたし、入院によらずに医師の治療を受けた場合九〇日を限度として支払う。

① 加入の申し込みと保険期間  
昭和五十六年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

② 加入の申し込みと保険期間  
昭和五十六年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

③ 加入の申し込みと保険期間  
昭和五十六年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

④ 加入の申し込みと保険期間  
昭和五十六年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

### 保険料分担金および内容

区分	保険料(年間)	活動内容
第1種	A 340円	スポーツ少年団、子ども会等
	B 400円	社会人構成のコーラス、華道サークル等
	C 680円	ママさんバレークラブPTAテニス部等
第2種	A 9,600円	山岳登山
	B 3,200円	相撲、スキー、柔道等
	C 1,600円	ソフトバドミントン、軟式庭球、剣道、卓球等

## 募集

大熊町青年会  
地域活動を通して会員相互の親睦を深める若人の集いです。

対象 町内に在住する十八才以上の青年男女です。

申込 住所・氏名・電話番号を大熊町公民館(志賀)へ連絡下さい。(電二〇六五)

ダンス会員  
(大熊町ユニオンダンス会)

ダンスクラブが誕生しました。毎週水曜日、公民館において社交ダンスの講習会を開きます。受講される方はお集り下さい。

募集人員 三十名  
受付 四月八日、午後七時大熊公民館で

# 清流

あれは確か十一月も終りに近い頃であった。季節はつれの豪雨にさらされながら四十五日間も放置されている自転車のあるのを見た。直感的に近づいて見ると、この自転車こそ私と娘が懸命に探し続けた我家の懐しい自転車であった。心ない悪戯者によって駅近くの自転車置場から乗り逃げされたから一ヶ月も過ぎた頃であった。

善と悪の雑居する世の中だから自転車の乗り捨てに逢うこと

## 一台の自転車

館報編集委員 島 覚

雑布みたくに「はい、それまでよ」と乗り捨てられるのでは、勉強意欲に燃える可愛い我が子の通学用にと、わずかな家計費をさいて買

求めた親子の努力は一体どうなることだろう。心ない何者かによ

て可弱い庶民の心が傷つけられて行く姿が情けない。まして人格形成上、大事な時期にある子ども達にとつては、だれの仕業か分からないまま他人を信じられず、社会に背を向けるようになるならば、

何が真実、美徳、善意なのかも判断に迷うことも度々だが、人間が人間たらしめるものは倫理と道徳においてであろう。せめて善、悪、正邪くらのことは一般的な常識として心得ていて貫かなければならないだろう。そんなことも弁えず、他人様の自転車を乗り廻す者がいるとすれば、それこそ「一寸待つて下さい××さん」である。



好評を得た3月2日の文化講演会(講師は吉田茂さん)

# お花のけいここと グループの楽しさ

昨年十月から公民館の華道教室に通い始めました。今年で三十歳、下の子もやっとこの春幼稚園に入園するようになり、育児の忙しさから少しづつ解放され、自分の自由になる時間が大部出来、さて何をしようかと思つた時、これといった趣味のない自分がつきました。家庭の中におさまり、視野がひどく狭く、最近は何の進歩もなくただだく然と時間を過ごしているだけの自分に気がつきました。

指導して下さる古小高先生は毎週原町から出張され、とても熱心に教えて下さるし、どの方もいきいきと、それでいて和気あいあいとした雰囲気で大変魅力あるサークルでした。入るとすぐ十一月の文化祭を経験することになりました。

## 親と子の

### 読書会に入つて

た。今迄はただぼんやりと見ていた作品展を、初心者ながらも出品させていただき、当事者として貴重な体験を味わうことができました。同じ花材を使つてもそれを手にする人によって全然違ったイメージの作品が出来てしまう不思議なところがあります。それぞれ違った表情を持たせるテクニックには奥行きを深さを感じずにはいられませんが、月一回の巡回配本と講

話や野外の集いなどを通して子ども達も読書への感心が高まりつつありますが、月一回の巡回配本と講

元木 あや子(熊二区)

あります。また、親としても自己教養の向上はもとより、さまざまな連帯意識も生まれ、意義深いものがあります。お勤めを持つている方も多いこととは思いますが、若いお母さん方に「是非」とお勧めしたいものです。それは、幼児や小学生の小さいうちから読書とのふれ合いが本当に大切だと思うからです。

公民館では、町民の皆さん

の学習要望にこたえるべく、各種の学級・講座を開

設しているが、新年度も内容を豊富にして開講します。

#### 婦人学級

婦人としての教養を高める学習です。対象は一般家庭婦人です。

#### 家庭教育学級

家庭や社会での身近な問題をとりあげての学習です。対象は幼児を持つ母親です。

#### 青年学級

若人が集い、研修やレク活動を通し、多くの仲間と人間関係を身につけよう。二十五才までの青年男女ならだれでも入れます。

#### 高令者大学

町内の多くの仲間と語ら

い楽しい日々を送ろう。対象は六十五才以上の高令者です。

#### 茶道講座

茶道講座(華道)：小原流も同時開催  
毎週金曜日、午後三時から小峰先生が指導します。

#### 華道講座(龍生流)

毎週水曜日、午前十時から古小高先生の指導で美と芸術が楽しめます。

#### 夜間の部

毎月第一・第三金曜日、午後五時から昼間と同じ内容で開講します。

#### 詩吟講座

毎週第一・第三火曜日、午後六時から寺門先生が指導します。

#### 民謡講座(二講座)

毎週第一・第三木曜日、午後七時から半谷先生が指導します。  
毎週第二・第四木曜日、午後七

時から今泉先生が指導します。

#### 書道講座

成人の部  
毎週金曜日、午後六時三十分から井戸川先生が指導します。

#### 高校生の部

毎週火曜日、午後六時から泉田先生が指導します。

#### 小学生の部

毎週土曜日、午後二時から及川先生が指導します。

#### 短歌教室

毎月第二土曜日、午後一時三十分から青田先生が指導します。

#### 料理教室

すぐに役立つ家庭のメニューです。月一、二回の実習で女性ならだれでも入れます。講師には普及所の先生が当ります。  
毎週火・金曜日、午後二時から

れませんでした。毎週のお稽古が楽しみになってきました。

古い時代から、その時代時代の感覚に培われてきた伝統としての華道を考えると、その入口に立つたばかりの私にとっては、足がすくむ思いですが、肩を張らずにゆっくり学んでいきたいと思ひます。とにかく家の中に常に花があると、とても心が和むものです。

山田先生が指導します。

#### 手あみ教室

毎週火曜日、午前九時三十分から佐光先生が指導します。

#### 夜間の部

毎週火曜日、午後六時三十分から昼間と同じ内容で開講します。

#### 親子読書会

親子の読書活動です。十名以上のグループをつくって申込み下さい。毎月楽しく、面白い本をお届けします。

#### 受講申込

受講希望者は、住所・氏名・所属学級・講座名を四月十日まで大熊町公民館へお知らせ下さい。



工細のわらでの級学人婦 (講師は坂本甫さん)

# 道場完成

## 弓道をやってみませんか

このたび、わが大熊町にも弓道場ができました。弓道愛好者の一人として、心から喜んでおります。ここで弓道について若干述べまして、広く同好の士を募りたいと思います。

弓道は矢を的に当てるといって極めて単純な競技のように思われまが、実はもっと奥行きが深いものです。弓道の目標は人格の完成にあり、弓道を通して人格と品性の陶冶に励むことです。もちろん矢が的に当たるといことは弓道の重要な眼目ですが、それだけでは充分でないというところに現代弓道の特徴があります。

弓道は老若男女、誰にでもできるものです。従って健康増進のためにも、精神修養のためにも、計

りしれない効用をもつものです。特に現代弓道は「礼に始まり、礼に終る」とも言われ、ともすれば現代社会に失われがちな礼法について、その大切さを教えています。弓は本来、武器ですから、一面では危険なものです。従って、始めは危険なものを放つものではないと、やがて何日かの基礎訓練が必要になります。将来、立派な弓道人になるためにも基本は特に重要です。

多少堅苦しいことを述べましたが、要は志を同じくする者が集まり、そこに新たな交際の場が生まれることは楽しいことです。県下に弓道会のないのは双葉郡だけなのです。弓道をやってみませんか。(文責 大沢、吉田信雄、電四六五)

### 会 員 募 集

#### 大熊町弓道会

対象 中学生以上で弓道に興味のある方。年令・性別は問いません。

#### 大熊町柔道会

対象 小学五年生以上・中学高校生・一般男女

#### 経 費

入会金 一、〇〇〇円 ただし高校生以下は免除。

会 費 一般 月五〇〇円

学生 月三〇〇円

。会費には道場使用料と会の運営費を含みます。

。会費の金額は暫定的なもので会費足後、総会で正式に決定します。

#### 指導及び練習

週二回の予定です。

#### 申込み

入会申込書に記入のうえ四月十日まで大熊町公民館へ申込み下さい。用紙は公民館窓口にあります。



## 少年団に応援旗

親子スポーツ大会や合宿訓練など、すばらしい活躍をみせている。また、この陰には後援会の力強い協力と指導も見逃すことはできない。この程、山岸三夫後援会長からは立派な応援旗が寄贈され、団のシンボルとして、子ども達も一段と熱の入るこの頃です。

#### 剣道少年団には 渡辺さんが寄贈

剣道少年団には渡辺保さんから応援旗が贈られた。団旗には「根性」の文字が染めぬかれており、剣道を通して心豊かな人間になることを願われている。この温かい思いやりに対し、皆さんと共に御礼を申し上げたい。

#### 大小に山岸さんが贈る

大小スポーツ少年団は、結成以来三年になりますが、活動も軌道にのりバスケットやソフトを中心とした定期的な活動はもとより、

## 婦人研修に参加して

この度、県主催の婦人教育指導者研修会に参加させて頂きました。が、指導者というよりも、長い人生の中で指導される立場です。その中で指導されました。県内各地の婦人の方々との心のふれ合いを通して、援助するとう目的に向って

ブロック研修が行われたものです。とくに雄大な磐梯山のみもと青年の家での意義ある研修であり、忘れ難い思い出でもあります。「指導者の心構え」「資質の向上」また「ボランティア活動」等につ

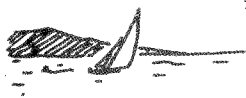
いての講義をいただき、婦人の役割というものがどれほど大切なものか、身にしみて感じました。婦人の活動は共通目的を設定し、その目的に向ってみんなが助け合いながら常に実践、継続して心の豊かさ、ふれ合い、ゆとりある婦人になってほしいという事でした。

視野の狭い私ですが、地域社会の生活向上と、女性の限らない幸せを求め、お互いに勉強し、会員のみなさんと共に歩んで行けるよう努力してゆきたいと思えます。

大川原 石田 キミ子

## 町 民 憲 章

健康で楽しく働ける 豊かなまちを つくりましょう  
 みんなで助けあい 明るいまちを つくりましょう  
 きまりを守り 平和な住みよいまちを つくりましょう  
 自然を愛し きれいなまちを つくりましょう  
 進んで学び 香り高い文化のまちを つくりましょう



# 文芸

## 詩



### わかさぎつり

大小四年 西牧 洋幸

わかさぎつりに行った  
氷におおわれた 大きなつつみ  
石で ガンガン 氷をわった  
つつみの水がゴボツゴボツとゆれ  
ポカッと穴があいた  
糸の先に 春のかおりをつけた  
銀色のわかさぎが  
ピンピン はねた

### ランドセル

熊小六年 赤井真智子

一年の時から今日まで  
わたしと  
楽しく登校した  
ランドセル  
雨の降っている日  
風のふいている日  
いつでも わたしといっしょの  
ランドセル  
いまでは  
傷つき よこれた  
ランドセル  
ランドセル  
ランドセルを見るよ  
今日までの 出来事が  
よみがえってくるようだ

## 短歌

高桑 重乃

大寒に入りし今日の空の色雲た  
なびきて風花の舞ふ

彼岸会のお供へすめばかねの音の  
生きて帰るなむ夫のみたまよ

夕暮るる末枯れてせまき裏庭にた  
だ笹なりの音のみぞする

さながらに枯木に花の咲くごとく  
沼への木立に宿る白さぎ

吹く風は彼方にのびる送電線に切  
れよとばかりひびき鳴るなり

水平線のあたりに見ゆる漁火の薄  
暗がりに明るさ増しぬ

川 木 裕 子

## 俳句

川 木 裕 子

初咲きの山茶花二つ雨しとど  
白鷺の松に宿借る秋夕べ

柿落葉はげまし合ひて共に老う  
菊の香と共に越路は消えにけり

雨そそぐ菊を供へて墓参り  
喜びのなきまま秋の終りけり

肩寄せて老の会話や菊日和  
五十肩日向綿虫漂ひて

おのづから歌口すさむ芒原  
秋雨に暮るる早さよ冷え込みて

菅 野 ミ ヨ

大観の絵のごと山の霧晴れぬ

鎌田 清衛

足音の絶へし病院尿せし水洗の音  
闇に響きぬ

点滴の父のベットの窓開けて紅葉  
盛りし山を入れなむ

松の内もエンジンの音ひびかせて  
勤めに行く夫を娘と見送りぬ

カラオケの音に合せし同僚の声高  
らかに年ぞ始むる

雪折れの杉の大枝切り倒す寒空に  
おののひびき消えゆく

昼下り耳に入りし音銃声かみれば  
獵男は犬連れて通る

原子の灯ともりて十年秋深し  
中山 安子

蚕の匂ひすると入り来る帰省の子  
毛羽取りの蚕屋に一人鴉の声

寒き日の店番老の身につらし  
遠のきし友の便りよ冬木立

試歩の夫に黙して添へり秋桜  
病室にわがもの顔の冬の蜂

運動着一つおかれて草紅葉  
針運ぶ母のそばまで秋の蝶

歩き初む子の肩に来て白はんば  
晩菊や秘めてしまひしこと憶ふ

籬より夕闇生る初冬かな  
渡辺 政美



## 天狗党現わる

元治元年、今より一七年前  
のことである。熊町にふってわ  
いたような大騒ぎが起った。  
天狗党だ！方々から大声が起  
った。気の早い人は大きなふる  
しきを背負って逃げだしていた。  
ところがその恐ろしい天狗党  
を見るために町の方に多くの人  
々が走っていった。

まだ十二才のマサさんも恐ろ  
しき見たさに大人にまじってで  
かけていった。青田氏宅（元農  
協支所）に捕えられた相馬藩の  
士がうずくまっていた。そこに  
は十人余りの武士が警固の任に  
当たっていた。両刀はとりあげら  
れたが、縄はかけられていなか  
った。

とっさのことである。武士は  
かくし持っていた短刀で自分の  
のどをついた。アッと驚いた番  
人は十手でその士の右手をたた  
いた。短刀は地面におちた。

上を下への大騒ぎ、青田さん  
の座敷に運ばれた士は町医者の  
治療を受けた。しかしよほどの  
深傷らしく士は苦しんでいた。  
マサさんは一目散に走って我  
が家に帰った。ブルブルふるい  
がとまらなかつた。

青田さんの座敷から数日うな  
り声が道路まで聞えた。この人  
は渡辺一二という相馬藩の士で、

有志十四名とともに脱藩して、水  
戸の天狗党に入り、日本の建直し  
を計画したが筑波山に敗れてしま  
った。

水戸藩の藤田小四郎、武田耕雲  
齊らは長野県から京都へ向う途中  
福井で降伏し、そこで大部分首を  
はねられた。野上の吉田さんの父  
佐々木勇蔵もここで死んだ。

渡辺一二ら一行は次城県那珂湊  
から三隻の小舟に分乗北に向った。  
暴風にあつた彼等は一隻は久の浜  
に、一隻は相馬小浜に上陸姿をく  
らました。一二ら八名をのせた舟  
は富岡の仏浜に着いた。ここは棚  
倉藩、警備もないので境川にた  
どりついてホッと一息ついた。

何とか命だけは助けてくれるに  
違いないと。  
ところが想像に反して相馬藩は  
嚴重だった。彼等は相馬中村に送  
られ武士の格式を外され牢内で処  
刑された。助けたくとも幕府の嚴  
命でそれができなかった。

その後相馬藩家老熊川兵庫が藩  
主名代で京都に上る途中宿で急死  
した。仲間の脱藩兵が殺したと噂  
された。同行の錦織晚香氏はこれ  
についてすべてを知っていた。

明治二十四年これらの人々は勤  
王の故をもって罪を許され、靖国  
神社に祭られた。渡辺一二の墓は  
熊川遍照寺に淋しく建っている。



### 初節句

三月の声を聞くと、そろそろ寒さも和らぎ、梅のつぼみもほころぶ季節となる。そしてひな祭りである。

赤い毛せんしきつめて  
おだいら様は 上の段  
と、よく歌い ひな壇は飾らなくとも、子ども心に嬉しく、餅やあらねなど買ってもらったのを覚えて

相双地区は、はでなひな壇など昔は飾らなかった為もあり、自分の娘にはしてやらなかったが、今度孫の初節句にひな人形を買ってやり、飾り方を娘たち夫婦に手手だって来た。まだ七ヶ月なので何の意味もわからないが、ひな壇のいくつものおひな様や、ぼんぼりのあかりをみて本当にうれしそうに笑顔をしていた。毎年三月三日が来るたびに「田舎のおばあちゃんに買ってもらったひな人形だ。」とよるこんでもらえると思うと嬉しさでいっぱいである。  
ところで、この初節句は、江戸幕府が定めた五節句の一つであるが、その源は遠く平安時代の子女の「ひいな遊び」にあると言われ、現代のようなひな祭りの形態をとり、ひな祭りが盛んになったのは



今日は、佐光美奈子さんの指導で帽子編みにちようせん

### おばあさんたちに あたたかい贈り物

江戸の中期からである。町人たちが、お家の繁昌の願いから始まったようで、それに加え貴人に対しても目下の者が競って立派な人形を献上したことが、ひな祭りをますます盛んにしたらしい。  
女の初生児のある家で、ひな節句を祝う風習が全国的に広まり、デパートなどでひな人形を売るようになったのは明治の末期からといわれているが、里方から「ひな人形」を贈るとい習慣もこの頃

大川原 志賀栄子

冬の寒空に、襟をすくめて歩くお年寄りの姿を見た部落の主婦が、何かお年寄りのために役立つことはないだろうか、と婦人部(代表 佐藤明子さん)で相談会を持つことになった。その結果、襟巻を編んで贈ることになり、編物に優れた特技を持つ松田ヒデさん(野上四区)を講師に会員総出で襟巻つくりに出された。  
完成した襟巻は部落内のおばあちゃん達に贈られ、心暖まる贈り物と感謝されている。またおじいさん達にも腰を冷やさないで長生きして下さいと座布団

### 剣道昇級者

- 大熊町の少年剣道教室は、三月で満四年を迎えましたが、剣友会員の熱心な指導で参加者の腕前はめきめき上達している。去る三月八日の昇級審査会では初段者も出るなど、鍛練の成果に講師陣もびっくりにしている。なお昇級審査の合格者は次の通りです。
- |    |            |    |                          |
|----|------------|----|--------------------------|
| 初段 | 斉藤 浩 (夫 沢) | 四級 | 山田英人 (熊)                 |
| 二級 | 鎌田恭行 (熊川)  |    | 川木敏行 (大和久)               |
|    | 新妻麻美 (野馬形) |    | 稲 新一 (熊)                 |
| 三級 | 斉藤 修 (夫 沢) |    | 渡辺博志 (大和久)               |
|    |            | 五級 | 柳田 淳 (熊)                 |
|    |            |    | 林崎一敏 (下野上)               |
|    |            |    | 高瀬 悟 (野馬形)               |
|    |            |    | 田熊清貴 (夫 沢)               |
|    |            |    | 鎌田雅弘 (野馬形)               |
|    |            |    | 国近嘉章 (熊)                 |
|    |            |    | 高橋順子 (下野上)               |
|    |            |    | 鎌田紀由 (熊川)                |
|    |            |    | 六級・七級は紙面の都合で省略させていただきます。 |

### ゴミは定めた 期日と場所に

を作って届けられ「八十年の長い生涯のなかでこんな嬉しいことはない」と婦人部のみなさんの暖かい思いやりに涙を流し喜んでいました。  
年末から正月にかけてのことです。「燃えないゴミ」収集場所に袋やダンボールに入ったゴミが十個程度かかれていたのです。年末のゴミ収集車が来なかったのかと思いい聞いてみると、ご用納め前に収集して行ったとのことでした。  
ゴミ置場には毎月二十日に持込むように札が立っているのですから、これは収集運搬が終ったから持込まれたものかわかりました。  
するとこのゴミは年末に大掃除を済ませてから出したもので、自



野馬形 美しいものを  
好くものより

# 子そだては 両親で考えよう

子どもを育てる責任は親にある、当然なことながら案外忘れ易い。最近の新聞紙上に、事故のひん

発、施設が悪い、設備が悪い、相手(社会政治を含め)が悪いと責任を外に向けられがちである。なぜその前に親自身の反省がないのだからか。よく「人間形成」を言葉に出されるが、成長には段階があり、その時期に知識、技能、態度を身につけないと豊かな心は育たない。親として、社会全般として考

えなければならぬと思う。思いつくまに列記してみる。

(一) 忍耐性をつくること。耐える事のできない子は、事に当って弱さが目立ち思わぬ方向に走る。デパートで泣く子が見られない。年令に合わないプラモデルを持ってニコニコしている子、作

るの親は親たより、他人の作った物には興味がない。こわして組立て工夫する意欲はさらさない。次の日は別なものをと繰り返しをして

渡欧の折、ある国でしつけにつ

いけないだろうか。隣で買ってきた。では家でもっと高いもの、家ではこれにしない。「これで」というおさえる心があるだろうか。これが中学で高級自転車、バイク、乗用車と、その頃は親の意見は耳に入らない。

(二) 責任の自覚。うちの子だけが悪いのではない、誰々もと、うちの子だけが残される。他人がやったらうが、ここはお前が悪いと、善悪のけじめをはっきりさせることが大切である。

いて質問した際、ある次官がしつては家庭で、といわれ困柄の相違とかたづけられない。子どもの良きにつけ、悪しきにつけ生活の基本的しつけは親である。人間として育てることの最初にして最後の責任は親という信念をもって今の時代に対処していかなければならないと思う。

小良浜 荒 盛 政

## 団体での 活動を通して思う

今や日本人の平均寿命は、世界

思い出のふるさとはどこへ行ってしまったのでしょうか。呼べど答はありません。けれど私の心の中には今も昔の懐かしい風景がよみがえってくるのです。

学校の恩師松本幸一先生が出て下さいました。先生方のなつかしい思い出話、お互いの話し合いに時間のすぎるのも忘れていました。松本幸一先生は七十才をすぎても大熊町史編纂という大仕事にとりくんでおられる由、頭の下る思いがしました。

は古い家でお庭には季節の花が咲き、沢山の植木がありました。そのまわりには大きな杉の木、孟宗竹、桜の大木などがあって、聖徳太子祭の頃は桜が満開になりそよ風に吹かれて散る花びらを白い糸を通した針でピンクの美しい花びらを一枚一枚さして髪飾り、



## 思ふ玉のふるさ

渡辺 キヨミ

私の実家には八十才の父、七十才の母と姉と一緒に暮らしています。姉の長男は大阪、二男は神奈川とふるさとを離れていますので、家族は町の皆さんに大へんお世話になっていきます。

私の家の斜め前には同級生の小山実さんのお家があります。町で



渡辺キヨミさんは旧姓池田、新制中学ができた時二年生に入学しました。校舎もなかったので隔離病舎を修繕して教室としました。浪高卒業後仙台市に住んでおります。

## 編集後記

昭和五十五年度は、町民の皆様から、たくさん原稿をお寄せいただき、豊富な内容で編集できましたこと厚く御礼申し上げます。新年度も引き続き紙面の刷新を図りながら、町民の館報として発行して参りますので、さらにご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

熊町 千葉 幸子

館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度で

① 主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

② 政治的な色彩を帯びたり、個人非難に属するものではないこと。

小学校の恩師松本初先生、中

同級会は私たち同級生ご夫婦の経営される玉の湯で開かれました。